

議案番号	議 案 名
	概 要
報告第22号	株式会社伊勢湾ヘリポートの経営状況について 令和7年度決算および令和8年度事業計画
報告第23号	青山高原保健休養地管理株式会社の経営状況について 令和7年度決算および令和8年度事業計画

不採択とされた請願

請願番号	請 願 名	賛成議員
	概 要	
請 願 第 1 号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援を求める請願書	滝勝弘、田矢修介、 八太正年
	難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にし、生活の質を落とす大きな原因であり、最近では社会的孤立やうつ病、認知症の発症や認知機能の低下のリスクを高めることが明らかとなっている。日本の難聴者率は欧米諸国と大差ないと言われているが、補聴器使用率は極めて低く、この背景には、日本では補聴器の価格が高額であることや、欧米では既に確立している補聴器購入に対する公的補助制度が整備されていないことがある。補聴器を必要とする多くの高齢者・難聴者から、低所得者や年金生活者にとっては経済的負担が大きく利用できないという悩みが出されていることから、加齢性難聴者の補聴器購入に対する津市独自の公的助成制度を求めるとともに、県および国の関係機関へも同助成制度の創設を要請するよう請願する。	
	《賛成討論 津くらし政策の会 田矢 修介議員》加齢性難聴は根本的な治療が困難と言われており、日常生活での聞こえづらさを補うためには補聴器の使用が有効な手段とされているが、補聴器は非常に高額なため多くの高齢者が購入を躊躇う中、難聴が社会的孤立や認知機能の低下のリスクを高めることが明らかになっている。補聴器購入の公的支援を行う自治体は増加しており、このような現状に鑑みて、公的支援を津市においても実施すべきと考えることから賛成する。	
	《賛成討論 滝 勝弘議員》国の公的補助制度がない中で、高額な補聴器の購入に対し補助事業に踏み出す自治体が増えつつある。本請願は、津市独自の公的助成制度を求め、県および国へも制度の創設を要請するものであり、難聴者への公的支援を求める声に応える内容と考えることから賛成する。	

議会日誌

令和8年5月1日～令和8年7月31日

令和8年

5月11日～13日	総務財政委員会管外視察 (八王子市、鴻巣市、墨田区)	6月15日	本会議 (質問日)
	教育厚生委員会管外視察 (戸田市、町田市、船橋市)	16日	本会議 (質問日)
14日	会派代表者会議	17日	本会議 (質問日)
21日	教育厚生委員会協議会	18日	本会議 (質問日)
25日～27日	経済環境委員会管外視察 (明石市、呉市、尾道市)	22日	建設水道委員会
	建設水道委員会管外視察 (岡山市、高松市、姫路市)	23日	教育厚生委員会
29日	新たな賑わい創出に関する調査 研究特別委員会	24日	経済環境委員会
6月 1日	議案説明会、議会運営委員会	25日	総務財政委員会
8日	本会議 (開会日)	29日	新たな賑わい創出に関する調査 研究特別委員会
10日	議会運営委員会	30日	議会運営委員会、会派代表者会議
		7月 1日	本会議 (閉会日)、 議会だより編集委員会
		30日	会派代表者会議
		31日	議会だより編集委員会